

本市のデータ

(1)面積 190.91km²

(2)人口 (人)

7年国調	12年国調	17年国調	平23.1.31住基
46,128	46,606	49,253	50,211
65歳以上人口比率(17国調)			20.4%

(3)世帯数

7年国調	12年国調	17年国調	平23.1.31住基
14,324	15,525	17,828	20,168

(4)沿革

平成17年1月
 亀山市 関町が合併し亀山市となる。

(5)産業構造

区分	就業人口		
	7年国調	12年国調	17年国調
1次	1,303人 5.4%	997人 4.1%	996人 3.9%
2次	10,992人 45.6%	10,758人 44.7%	10,747人 41.9%
3次	11,755人 48.8%	12,186人 50.6%	13,382人 52.8%
計	24,050人	23,941人	33,111人

本市の概要

亀山市は三重県の中北部に位置し、まちの歴史は古く、古代、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ、都と東国を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。江戸時代に入ると、亀山宿、関宿、坂下宿は東海道の宿場町としてにぎわいました。明治時代の中頃には、関西鉄道(現関西本線)と参宮鉄道(現紀勢本線)が相次いで開通し国有化されたことから、亀山は両線が分岐する鉄道のまちとして発展してきました。

また、東名阪自動車道、近畿自動車道伊勢線が整備されてからは、名阪国道や国道1号とも結節して、企業が立地し内陸産業都市として発展してきました。このように、亀山市はそれぞれの時代を通して交通の結節点としての役割を担ってきました。“古きよきもの”と“新しいもの”が交差するまち、亀山市は鈴鹿山系が育む貴重な自然と、東海道の宿場町の面影や日本武尊伝説などの歴史文化資源に恵まれた、豊かな環境のまちです。

東海道 関宿



坂本棚田



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

ストレス等によって引き起こされる、こころの問題が増加している中、こころの問題は未だ偏見が強く、正しい理解が得られていない状況です。こころの問題を抱える人が早期に受診行動をとれるよう、こころの問題に関する正しい知識の普及に努めるとともに、保健所・医療機関と連携した相談機能を充実します。

<具体的な取組み>

【普及啓発】

○自殺予防週間の啓発

 広報による市民への啓発活動

 総合保健福祉センターにおいて街頭啓発を実施(県と協働)

○メンタルパートナー養成

【相談】

○こころの健康に関する保健師による相談

○電話相談

○専門相談(県保健所での専門相談への紹介)